



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月1日

上場取引所 東大

上場会社名 クラリオン株式会社

コード番号 6796 URL <http://www.clarion.com>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 泉 龍彦

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 広報担当

(氏名) 吉峰 徹郎

TEL 048-601-3700

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	129,987	△3.2	4,654	30.8	4,312	55.4	3,230	110.4
23年3月期第3四半期	134,294	5.1	3,558	—	2,775	—	1,535	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,708百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △983百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	11.46	—
23年3月期第3四半期	5.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	110,631	10,454	9.3	36.47
23年3月期	103,769	8,728	8.2	30.27

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 10,281百万円 23年3月期 8,534百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	175,000	△1.9	5,300	7.4	4,500	8.4	3,500	153.1	12.41

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) - 、除外 一社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	282,744,185 株	23年3月期	282,744,185 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	799,314 株	23年3月期	792,769 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	281,947,642 株	23年3月期3Q	281,965,758 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災から回復の兆しを見せておりましたが、タイの洪水被害が深刻化して部品供給の逼迫が再び顕在化し、円高の進行等もあり景気回復に向けて足取りの重い状況が続きました。

米国では、個人消費の堅調さがみられるものの高い失業率や住宅市場の低迷が続き、欧州では、財政金融不安により景気の先行きは不透明な状況にあります。一方、堅調に成長してきた新興国におきましては、拡大スピードが減速してきており成長の踊り場に差し掛かっております。

当社グループの関連する自動車業界におきましては、各メーカーともタイの洪水被害により操業停止、減産を余儀なくさせられましたが、最悪の状況は脱し徐々に回復傾向にあります。

当第3四半期連結累計期間における業績につきましては、東日本大震災に起因する日本国内での部品供給問題は改善が見られ、自動車メーカーの新車生産台数・販売台数も回復基調にある一方、タイの洪水影響による部品逼迫という新たな問題の発生と、円高の大幅進行による販売金額の減少等もあり、連結売上高は1,299億87百万円と前第3四半期連結累計期間比3.2%の減収となりました。

損益面につきましては、グループを挙げての変動費低減活動の継続的实施及び不要不急の固定費の発生抑止に努めてまいりました結果、連結営業利益は46億54百万円と前第3四半期連結累計期間比30.8%の増益となりました。また、営業外収支の改善により連結経常利益は43億12百万円と前第3四半期連結累計期間比55.4%の増益となりました。さらに税金費用等を控除し、32億30百万円の連結四半期純利益を計上、前第3四半期連結累計期間比110.4%の増益となりました。

なお、暦年決算会社の決算期間を統一する目的で、当第3四半期連結累計期間における香港・中国の連結子会社の業績は平成23年1月1日から平成23年12月31日までの12ヶ月間を連結しております。

セグメント別の業績は次のとおりです。

(日本)

国内経済は、企業の生産活動は緩やかに持ち直しており、個人消費はおおむね横這いとなっております。しかしながら、欧州の財政・金融危機や急速な円高の進行等による景気の下振れリスクが懸念されております。

自動車業界におきましては、部品メーカーが被災した影響で生産が減少した為、4～12月における国内新車販売台数は前年同期比11%の減少となり、当社グループにとって厳しい状況が続いております。

業績につきましては、新車販売台数の落ち込み等の影響により、セグメント売上高は689億80百万円と前第3四半期連結累計期間比2.9%の減収となりました。

損益面につきましては、変動費比率の改善と固定費の削減効果等により、セグメント利益は35億62百万円と前第3四半期連結累計期間比78.4%の増益となりました。

(米州)

米国における4～12月の新車販売台数はガソリン価格高騰が一服したこともあり堅調に推移し、前年同期比約7%の増加となりましたが、米国経済は緩やかに持ち直しているものの、欧州債務危機拡大の影響もあり、本格回復には遠く、先行きの不透明感も残っております。

業績につきましては、中南米子会社のEMS（Electronics Manufacturing Service：電子機器受託製造サービス）事業の受注増加による増収はありましたが、東日本大震災及びタイの洪水に起因した部品供給問題の影響により、セグメント売上高は407億62百万円と前第3四半期連結累計期間比7.8%の減収となりました。

損益面につきましては、販売費及び一般管理費の削減効果はありましたが、売上減収によりセグメント利益は10億1百万円と前第3四半期連結累計期間比36.1%の減益となりました。

(欧州)

ユーロ圏の経済は財政悪化が深刻なギリシャが発端となって、同様に財政赤字を抱えているイタリアやスペイン等に信用不安が飛び火し、株価の低迷やユーロ安が加速し、景気の減速感が強くなっております。

業績につきましては、OEM（相手先ブランドによる生産）市場向け売上の減少等により、セグメント売上高は79億39百万円と前第3四半期連結累計期間比9.3%の減収となりました。

損益面につきましては、売上減収により53百万円のセグメント損失（前第3四半期連結累計期間は23百万円のセグメント損失）となりました。

(アジア・豪州)

中国の年間経済成長率は9.2%と依然として高水準を維持しているものの、欧州金融危機の影響を受けて、4四半期連続で鈍化しております。他のアジア新興諸国でも総じて拡大テンポが鈍化傾向にあります。

業績につきましては、香港・中国連結子会社の決算期間統一の影響等により、セグメント売上高は123億3百万円と前第3四半期連結累計期間比19.9%の増収となりました。

損益面につきましては、売上増収と販売費及び一般管理費の削減により2億74百万円のセグメント利益（前第3四半期連結累計期間は17百万円のセグメント損失）となりました。

なお、上記セグメント売上高は外部顧客に対するものであり、セグメント利益又は損失は、営業利益又は損失であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末と比較し68億62百万円増加し、1,106億31百万円となりました。これは、現金及び預金、たな卸資産並びに短期貸付金の増加等により流動資産が66億90百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、支払手形及び買掛金の増加等により、前連結会計年度末と比較し51億36百万円増加し、1,001億77百万円となりました。

純資産につきましては、円高影響により為替換算調整勘定が減少したものの、連結四半期純利益の計上により、前連結会計年度末と比較し17億26百万円増加し、104億54百万円となりました。自己資本比率は9.3%で、前連結会計年度末と比較して、1.1ポイント増加いたしました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物残高は92億80百万円（前第3四半期連結会計期間末残高は144億53百万円）となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、たな卸資産の増加等はありませんでしたが、税金等調整前四半期純利益の計上、仕入債務の増加等により、112億16百万円の収入（前第3四半期連結累計期間は91億23百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、有形固定資産及び無形固定資産の取得、短期貸付金の実行等により、85億5百万円の支出（前第3四半期連結累計期間は25億76百万円の支出）となりました。その結果、フリー・キャッシュ・フローは27億11百万円の収入（前第3四半期連結累計期間は65億46百万円の収入）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、長期借入金の返済等により、5億64百万円の支出（前第3四半期連結累計期間は16億43百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期業績予想につきましては、平成23年10月31日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」から、変更ありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理

税金費用につきましては、主に当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

連結の範囲に関する事項の変更

①連結の範囲の変更

前連結会計年度において、非連結子会社でありましたClarion Asia (Thailand) Co., Ltd. (旧社名：Siam CM Electronics Co., Ltd.) は、株式の追加取得に伴い、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

Zandiant Technologies, Inc. は、当第3四半期連結会計期間においてClarion Corporation of America と合併したため、連結の範囲から除いております。

②変更後の連結子会社の数

20社

③連結子会社の事業年度等に関する事項の変更

従来、連結子会社のうち決算日が12月31日であるClarion (H.K.) Industries Co., Ltd.、Dongguan Clarion Orient Electronics Co., Ltd.、Xiamen Clarion Electrical Enterprise Co., Ltd. につきましては、同日現在の財務諸表を利用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については必要な調整を行っていましたが、より適切な経営情報を把握するために連結決算日における仮決算の検討を進めた結果、実務上の対応が可能となったため、当第3四半期連結会計期間より連結決算日における仮決算による財務諸表にて連結する方法に変更しております。この変更により、当第3四半期連結累計期間は平成23年1月1日から平成23年12月31日までの12ヶ月間を連結しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,421	9,281
受取手形及び売掛金	24,931	25,860
商品及び製品	11,996	11,414
仕掛品	859	1,690
原材料及び貯蔵品	7,971	10,411
その他	7,777	8,917
貸倒引当金	△277	△204
流動資産合計	60,679	67,370
固定資産		
有形固定資産	21,987	21,886
無形固定資産		
のれん	5,483	4,796
ソフトウェア	9,799	10,811
その他	618	762
無形固定資産合計	15,901	16,371
投資その他の資産	5,200	5,003
固定資産合計	43,089	43,260
資産合計	103,769	110,631
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,704	30,088
短期借入金	20,643	591
未払法人税等	697	818
賞与引当金	1,779	951
製品保証引当金	417	382
災害損失引当金	384	137
その他	13,286	13,237
流動負債合計	60,913	46,207
固定負債		
長期借入金	20,717	40,476
退職給付引当金	9,874	10,040
役員退職慰労引当金	194	194
製品保証引当金	375	344
その他	2,964	2,913
固定負債合計	34,127	53,969
負債合計	95,041	100,177

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,100	26,100
資本剰余金	2,669	2,669
利益剰余金	△10,335	△7,105
自己株式	△124	△125
株主資本合計	18,310	21,539
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	96	143
繰延ヘッジ損益	△7	2
土地再評価差額金	939	1,020
為替換算調整勘定	△10,803	△12,424
その他の包括利益累計額合計	△9,775	△11,257
少数株主持分	194	172
純資産合計	8,728	10,454
負債純資産合計	103,769	110,631

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	134,294	129,987
売上原価	112,668	108,603
売上総利益	21,625	21,383
販売費及び一般管理費	18,067	16,729
営業利益	3,558	4,654
営業外収益		
受取利息	52	53
受取配当金	20	20
為替差益	—	22
持分法による投資利益	67	153
その他	201	228
営業外収益合計	342	478
営業外費用		
支払利息	477	382
為替差損	315	—
その他	333	437
営業外費用合計	1,126	820
経常利益	2,775	4,312
特別利益		
固定資産売却益	41	55
受取保険金	—	290
過年度特許料引当戻入益	135	—
貸倒引当金戻入額	105	—
その他	33	48
特別利益合計	316	393
特別損失		
固定資産売却損	6	11
固定資産除却損	91	44
投資有価証券評価損	—	132
事業構造改善費用	496	25
事務所移転費用等	16	5
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	111	—
その他	17	23
特別損失合計	739	242
税金等調整前四半期純利益	2,351	4,463
法人税、住民税及び事業税	825	948
法人税等調整額	△14	281
法人税等合計	811	1,229
少数株主損益調整前四半期純利益	1,540	3,233
少数株主利益	5	3
四半期純利益	1,535	3,230

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,540	3,233
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	70	47
繰延ヘッジ損益	△5	10
土地再評価差額金	—	80
為替換算調整勘定	△2,492	△1,550
持分法適用会社に対する持分相当額	△96	△114
その他の包括利益合計	△2,524	△1,525
四半期包括利益	△983	1,708
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△974	1,748
少数株主に係る四半期包括利益	△8	△39

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,351	4,463
減価償却費	5,214	4,971
のれん償却額	686	704
持分法による投資損益 (△は益)	△67	△153
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	132
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△173	△72
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△186	174
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△79	—
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△68	△46
受取利息及び受取配当金	△72	△74
支払利息	477	382
為替差損益 (△は益)	△231	△211
固定資産売却損益 (△は益)	△34	△43
固定資産除却損	91	44
事業構造改善費用	496	25
売上債権の増減額 (△は増加)	2,060	△1,820
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△5,552	△3,396
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,528	6,967
その他	1,218	147
小計	10,659	12,195
利息及び配当金の受取額	96	99
利息の支払額	△480	△387
法人税等の支払額	△1,152	△690
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,123	11,216
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△1
有形固定資産の取得による支出	△1,187	△2,533
有形固定資産の売却による収入	67	1,253
無形固定資産の取得による支出	△2,528	△3,956
投資有価証券の取得による支出	△20	△22
投資有価証券の売却による収入	40	38
貸付けによる支出	△19,095	△11,668
貸付金の回収による収入	20,147	8,548
子会社株式の取得による支出	—	△164
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,576	△8,505
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,000	—
長期借入れによる収入	—	20,000
長期借入金の返済による支出	△227	△20,226
リース債務の返済による支出	△413	△372
少数株主からの払込みによる収入	—	34
自己株式の取得による支出	△2	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,643	△564
現金及び現金同等物に係る換算差額	△641	△441
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,261	1,704
現金及び現金同等物の期首残高	10,192	7,421
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	154
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,453	9,280

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	米州	欧州	アジア・ 豪州	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	71,042	44,234	8,751	10,265	134,294	—	134,294
セグメント間の内部売上高 又は振替高	35,398	464	133	21,450	57,446	△ 57,446	—
計	106,441	44,698	8,884	31,715	191,740	△ 57,446	134,294
セグメント利益又は損失(△)	1,996	1,568	△ 23	△ 17	3,524	34	3,558

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は損失であります。また、セグメント利益の調整額34百万円は、全額セグメント間取引消去であり、四半期連結損益計算書計上額と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	米州	欧州	アジア・ 豪州	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	68,980	40,762	7,939	12,303	129,987	—	129,987
セグメント間の内部売上高 又は振替高	28,346	431	141	29,282	58,202	△ 58,202	—
計	97,327	41,194	8,081	41,586	188,189	△ 58,202	129,987
セグメント利益又は損失(△)	3,562	1,001	△ 53	274	4,785	△ 131	4,654

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は損失であります。また、セグメント利益の調整額△131百万円は、全額セグメント間取引消去であり、四半期連結損益計算書計上額と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。